

やちまた『こどもまんなか』シンポジウム開催要綱

■目的

八街市は、少子高齢化が進み、人口減少、物価高騰などによる生活困窮、不登校、ひきこもりなど地域生活課題が複雑化・複合化し、この社会課題の解決が喫緊の課題となっています。

そのような中で、コロナ禍が終わりアフターコロナの地域活動は、新たな繋ぎ直しにより再開しつつあります。

この度、本会が運営する「子どもの居場所ネットワーク協議会」主催によるシンポジウムを開催することにより、改めて点の活動が線となり面となって、包摂的なこどもをまんなかに考える地域づくりを構築するため、シンポジウムを開催します。

■日時 令和7年3月16日（日）

午後2時～4時 受付 午後1時30分～

■場所 市総合保健福祉センター 3階 大会議室

■保育 当日は保育ボランティアを設置します

■対象 こどもをまんなかに考える地域づくりに関心のある方

■定員 100名 ■後援 八街市、八街市教育委員会

■タイムスケジュール

14:00～15:00

第1部 基調講演

講師 こども家庭庁支援局家庭福祉課
課長補佐 胡内 敦司 氏

テーマ『これからのこども・子育て支援を考える』

15:00～15:40

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 八街中学校生徒

パネラー①NPO 法人ハーベストミュージックジャパン

事務局長 下川 千加子氏

「制服リユースとフードパントリーの活動について」

パネラー②（一社）子どものみらい開墾社／ナッツアップ？

代表理事 太田 蒔子氏

「中高生のフリースペースについて」

パネラー③八街市児童館ひまわりの家

館長 長谷川 正幸氏

「児童館と子育ての課題について」

15:40～15:55

第3部 グループトーク

第1部、第2部を通じて参加者の意見を話し合う（3人1組）

15:55～16:00

まとめ 講評 こども家庭庁支援局家庭福祉課 課長補佐 胡内 敦司 氏



『申込QRコード』